

総務政策委員会会議録

招 集

令和2年6月30日（火）本会議休憩中 議場

出席委員（9名）

（委員長）奥 岩 浩 基 （副委員長）又 野 史 朗
安 達 卓 是 稲 田 清 田 村 謙 介 戸 田 隆 次
西 川 章 三 安 田 篤 渡 辺 穰 爾

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】辻部長

永瀬防災安全監

[防災安全課] 三木課長 藤谷主査 田淵危機管理室主任

[財 政 課] 下関次長兼課長 大塚総括主計員 小梅川係長

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 先灘調整官 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者

石橋議員 伊藤議員 今城議員 岩崎議員 岡村議員 尾沢議員 門脇議員

国頭議員 土光議員 前原議員 三鴨議員 矢田貝議員

報道関係者1人 一般3人

審査事件及び結果

議案第72号 財産の取得について

[原案可決]

~~~~~

## 午後1時00分 開会

○奥岩委員長 ただいまより総務政策委員会を開会いたします。

先ほどの本会議で当委員会に付託されました議案1件について審査いたします。

議案第72号、財産の取得についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

田淵防災安全課主任。

○田淵防災安全課危機管理室主任 防災安全課から説明させていただきます。本件議案は、防災行政無線放送の情報伝達手段として、市民、消防団及び自治会に貸与する防災ラジオ放送受信機の取得について議会の議決を求めるものでございます。

取得する財産は、自動起動機能付きラジオ放送受信機4,000台で、製造については6月5日開催のプロポーザル選考委員会で選考を決定いたしました株式会社メディアトライに12月28日を納期として委託予定で、取得価額は税込みで4,400万円でございます。ラジオの主な仕様については、資料の3の(3)に記載しておりますが、Jアラート発報時及び防災行政無線の緊急放送・通常放送時に自動起動し、放送内容が流れること、ラジオ放送局を最大12局までプリセット可能であること、無線放送を自動録音・再生が

可能であること、自動起動時に白色LEDランプが発光して、視覚的に放送受信を確認できることなどの機能がございます。

また、裏面にラジオの図を載せておりますので御覧ください。基本的には商用電源にACアダプターを接続し、屋内で設置していただくことを想定しております。放送局の選局はダイヤル式で、音量もつまみで調節が可能ですので、高齢者の方でも容易に操作ができるような仕様となっております。また、御覧いただいている筐体デザインは、現時点で未確定でございますので、配色、文字、表示などはイメージとして、御参考としてください。説明は以上でございます。

○**奥岩委員長** 当局の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

田村委員。

○**田村委員** 配置が一般の市民であったり消防団であったり、また自治会であったりということなんですけれども、例えば自治会というのは自治会長さんにとということなんでしょうか確認します。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** 自治会長という断定的なことでは決めておりませんが、自治会で一台ずつ配布し、使用については自治会ごとに考えていただきたいというふうに思っています。主には自主防災組織なんかに配置されるのがよろしいかなというふうに思っております。

○**奥岩委員長** 田村委員。

○**田村委員** よくわかりました。一般市民の方ということなんですけれども、配布先の選定というのはどういう基準を持っておられるのか伺います。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** 特定な配布先というのは決めておりませんが、希望される一般市民の方に対応していくということで考えております。具体的に申しますと、優先貸与期間というものをまず最初に設けまして、要配慮の方であったり高齢者の方をまず貸与機関として設けて、その後に希望される一般市民の方に貸与していきたいというふうに考えております。

○**奥岩委員長** 田村委員。

○**田村委員** わかりました。4,000台ということなんですけれども、例えば有償でもいいから手にしたい、そういうニーズがあった場合、どう対応されますでしょうか伺います。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** 基本的には有償貸与で、希望される市民の方に貸与していく予定でございます。

○**奥岩委員長** 田村委員。

○**田村委員** 4,000台となっておりますけれども、それを超えてとお聞きしたつもりです。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** 4,000台を超えてということになりますと、需要が4,000台を超えてあるということになってくると思いますが、それについては普及状況なんかを勘案しながら考えていきたいというふうに思っております。

○**奥岩委員長** 永瀬防災安全監。

○**永瀬防災安全監** まず一つ、4,000台のうちの500台は自治会等に配りますけれども、残りの3,500台は、先ほど担当のほうで申しましたように、順に希望される方、優先順位を考えながらですけど、希望者に対して配布をしていきます。いずれこの4,000台というニーズが、鳥取市の例なんかで言いますと、3,500台については基本的に有償でございます。それで、その後については、鳥取市などの例を見ますと、当初2,000台を用意されてたら、その後さらにニーズがあったということで増やされたという事例も承知しておりますので、米子市におきましてもそのニーズの状況、希望の状況を見ながら4,000台のあと追加していくかどうかについては、検討していきたいと考えております。

○**奥岩委員長** 田村委員。

○**田村委員** わかりました。冒頭に防災行政無線放送の情報伝達手段としてというふうに書いてあるんですが、以前、たしかダラズFMの電波を利用しているというような話もあったと思います。この筐体というのは何の電波を受信するんですか。デジタル化された行政無線なのか、FM波のダラズのものを受信して起動するのどちらでしょうか。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** ダラズFMのFMラジオ電波を使用して自動起動して、それを受信して防災無線の内容が聴取できるものでございます。

○**奥岩委員長** 安達委員。

○**安達委員** 細かいことになるかもしれませんが、何点か教えていただけますか。ラジオのネームのところ起動機能とありますけれども、この起動というのが自動起動というのが少し一般的にわかりにくいんですが、このことと、それから主な仕様のところで、イのところプリセット可能という、このプリセットというのが普段耳にしないんですが、この2点を教えてください。

○**奥岩委員長** 田淵防災安全課主任。

○**田淵防災安全課危機管理室主任** 自動起動といいますのは、防災無線放送を流した時に自動で防災ラジオが起動するという意味でございます。通常のラジオですと、電源を切っていれば防災無線が流れたとしても自動起動して流れるということはありませんが、米子市が製造する防災ラジオにつきましては、米子市が緊急放送・通常放送、防災無線を流した時に、電源を切っていても自動的に電源が入って防災無線の内容が聴取できるということが、起動するという意味でございます。

3の(3)のイのところでございますけれども、プリセットという意味は、ラジオ局を最初に設定をしておいて、使用される市民の方は選局だけをしていただければ、1、2、3と番号が振ってありまして、それに合わせてダイヤルを回していただければ選局できるというものです。通常のラジオでございますと、周波数の数字を合わせながらやらないといけないんですけども、米子市のラジオですと、選局しやすいというふうになっております。

○**奥岩委員長** 安達委員。

○**安達委員** それと、納期が今年の年末ということで明記してあるんですが、これは、この6月の補正ということで前倒しになって12月納期なのか、そのところが、本来は年度当初に予算を挙げといて、例えば半年たったなら納期なのか。こら辺がちょっとわかりに

くかったんですが。もう少し納期を早めることはできるかどうか。例えば、10月末とかというのはなかなか無理な話なんではないでしょうか。災害とかその対応になったら、この納期の時期を早めるのがほしいかなという思いで質問します。

○奥岩委員長 田淵防災安全課主任。

○田淵防災安全課危機管理室主任 納期につきましては、こちら側としてもできるだけ早期な納期をということで交渉をする際に話したんですけれども、防災ラジオの部品なんかの調達も含めまして、大体12月末ごろになるということでお話を聞いておりますので、早めるというのはちょっと難しいということで回答をいただいております。

○奥岩委員長 安達委員。

○安達委員 最後になりますが、逆にコロナ禍なので、部品の調達とかが当初の見通しより厳しいという話を聞けば、そこをきちんと対応をお願いしたい。12月末の納期を守っていただくようにという業者への要請をお願いしたいと思います。以上です。

○奥岩委員長 ほかに委員の皆様、ございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○奥岩委員長 質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」との声あり〕

○奥岩委員長 別にないようですので、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第72号、財産の取得について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○奥岩委員長 御異議なしと認めます。

よって、本件については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務政策委員会を閉会いたします。

午後1時11分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

総務政策委員長 奥 岩 浩 基